

# テック インフラ Tech Infraだより vol.7

## フィンテックが起こす 金融サービスのイノベーション

2018年11月16日

決済、送金などの金融サービスがより便利に。フィンテックを代表するキャッシュレス決済はさらなる進化が予想されます。

フィンテックとは金融とIT（情報技術）を融合した新サービス

フィンテックとは金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた概念です。金融の世界では、テクノロジーを活用した新たなサービスが生まれています。決済、融資、送金、資産運用・管理、会計、保険、仮想通貨、経営・業務支援など、これまで金融機関がほぼ独占していた金融サービスをインターネット、クラウド、スマートフォンなどを通じて、より便利に、より低コストで、より迅速に提供しようというものです。

### フィンテックの事例

モバイル決済



オンライン送金



投資サポート



資産管理



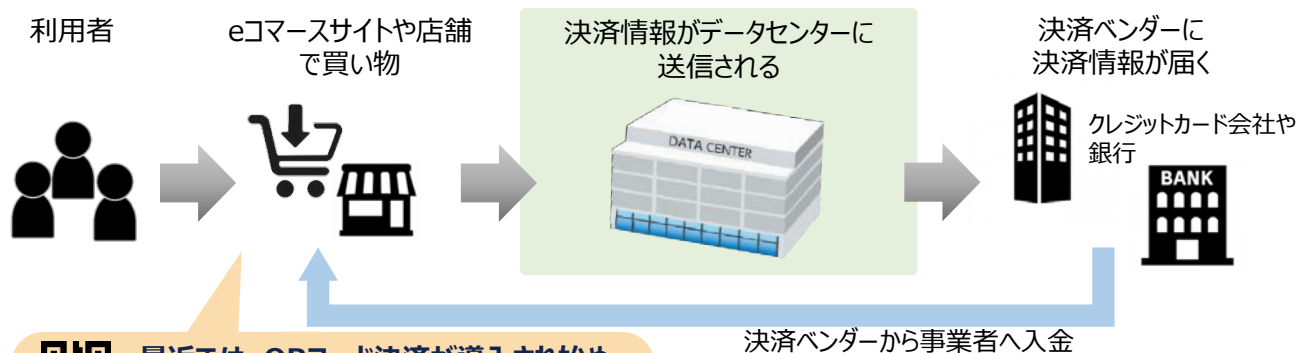
オンライン融資



キャッシュレス決済は今後さらなる拡大が予想される

身近な事例としてはキャッシュレス決済が挙げられます。クレジットカードや電子マネーで支払いが完了するキャッシュレス決済は、すでに日本でも普及しています。しかし、中国などではさらに一歩先をいっており、QRコードをスマートフォンのカメラで読み取ることで決済が完了する方法が導入されています。日本におけるキャッシュレス決済の比率は約2割とされており、世界的に後れを取っています。政府は訪日観光客がキャッシュレス決済を不自由なく利用できることなどを目的に、この利用率を引き上げる目標を掲げています。また、経済産業省が発表した、「2025年までにキャッシュレス決済比率40%を目標とする「キャッシュレス・ビジョン（2018年4月策定）」も追い風になると考えます。今後、さらなる普及が期待されるキャッシュレス決済は、決済情報などのデータも増加することが予想されます。そのような膨大なデータを処理するのがデータセンターのようなテクノロジー・インフラの役目になります。

### 拡大するキャッシュレス決済を支えるテクノロジー・インフラのイメージ



最近では、QRコード決済が導入され始めています。

購入者がスマートフォンなどに専用のアプリをダウンロードし、店舗側が表示するQRコードを読み取るだけで決済が完了する方法などがあります。

上記はイメージ図です。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会